

秘

統計法に基づく
一般統計調査

第14回出生動向基本調査

結婚と出産に関する全国調査

〔結婚されている方への調査票〕

(平成22年(2010年) 6月1日 現在の事実)

対象となられた皆さまへ

このたびは調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

この調査は、わが国における結婚、出産、子育ての現状と課題を調べるために、国立社会保障・人口問題研究所が全国的に行う標本調査です。これからの日本社会の見通しや施策を考える上で、大切な資料となるものです。この調査票への回答は統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は法律で固く禁じられています。お答えいただいた内容が他にもれることは絶対にありませんので、どうぞ安心してありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

(調査の詳しいご説明は、最終ページにございます)

なお、この調査票の配布と回収(密封封筒)には、都道府県知事(市長・区長)の任命を受けた調査員が皆さまのお宅にうかがいます。ご不明の点は調査員におたずねください。

記入上のお願い

- この調査票は結婚している50歳未満の女性の方に、ご夫婦のことについて答えていただくためのものです(「結婚している」とは、届出の有無にかかわらず配偶者がいることです)。
- 平成22年(2010年)6月1日現在の事実について、ご記入ください。
- 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なことごとを書きこむものがあります。
- 回答後の調査票は、回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。封筒はそのまま国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、決して途中で開封されることはありません。

厚生労働省
国立社会保障・人口問題研究所
〒100-0011 東京都千代田区千代田2-2-3
日比谷国際ビル6階
電話(03)3595-2984 内線4472 / 4474
<http://www.ipss.go.jp>

調査員記入欄				
都道府県	保健所	地域コード		

問1 あなた方ご夫婦の(1)出生年月、(2)結婚生活を始めた年月、(3)結婚を届け出た年月、および(4)初再婚の別について、あてはまる番号に○をつけ、下線の欄に数字を記入してください。

	(1) 出生年月	(2) 結婚生活を始めた年月	(3) 結婚を届け出た年月	(4) 初再婚の別
あなた	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	1. 結婚生活開始と同時 2. 下の年月に届け出た <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> 1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦 </div>	1. 初婚 2. 離婚後再婚 3. 死別後再婚
夫	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	3. (まだ)届け出はしていない	1. 初婚 2. 離婚後再婚 3. 死別後再婚

問2 あなた方ご夫婦がそれぞれ (1)最後に卒業された(あるいは在学中の)学校と、(2)卒業・在学の別について、あてはまる番号に○をつけてください。また、卒業された方は (3)卒業したときの年齢を()内に記入してください。

	(1) 卒業した(または在学中の)学校	(2) 卒業・在学の別
あなた	あてはまる番号に○ 1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他 具体的に()	あてはまる番号に○ 1. すでに卒業 → <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">(3)卒業した年齢 数字を記入 ()歳</div> 2. 現在、在学中(休学等を含む)
夫	あてはまる番号に○ 1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 大学 7. 大学院 8. その他 具体的に()	あてはまる番号に○ 1. すでに卒業 → <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">(3)卒業した年齢 数字を記入 ()歳</div> 2. 現在、在学中(休学等を含む)

● このページでは、あなた方ご夫婦のお仕事についてうかがいます。

問3 あなた方ご夫婦のいろいろな時期のお仕事についておたずねします。下のa～gの各時期における(1)おつとめの状況、(2)職種、(3)おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

おたずねの対象者 ↓	おたずねの時期 ↓	(1)おつとめの状況						(2)職種							(3)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)						
		1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業主・家族従業者	5 無職・家事	6 学生	1 主として農林漁業	2 農林漁業以外の自営業	3 専門職	4 管理職	5 事務職	6 販売・サービス職	7 工場などの現場労働	1 1人	2 10人	3 30人	4 100人	5 300人	6 1000人以上	7 官公庁
		回答欄						(1)で1～4に○をつけたときだけあてはまる番号に○をつける							(1)で1～4に○をつけたときだけあてはまる番号に○をつける						
あなた	a. 最後に学校を卒業した直後※	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
	b. 現在の結婚を決めたとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
	c. 結婚直後	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
	d. 現在	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
夫	e. 最後に学校を卒業した直後※	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
	f. あなたとの結婚を決めたとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
	g. 現在	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

問4 あなた方ご夫婦の現在のお仕事について、次の(1)から(4)までの項目に、該当する数字を記入し、あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

	あなたの仕事について (現在仕事に就いている場合のみご記入ください)	夫の仕事について (現在仕事に就いている場合のみご記入ください)
(1) 先月(5月)の収入	税込み 約 <input type="text"/> 万円 事業収入の場合は、売上から諸経費を差し引いた額を記入してください。次の(2)も同様です。	税込み 約 <input type="text"/> 万円
(2) 昨年(平成21年)の収入	税込み 0. 0～99万円 1. 100万円台 2. 200万円台 3. 300万円台 4. 400万円台 5. 500万円台 6. 600万円台 7. 700万円台 8. 800万円台 9. 900万円台 10. 1000万円以上	税込み 0. 0～99万円 1. 100万円台 2. 200万円台 3. 300万円台 4. 400万円台 5. 500万円台 6. 600万円台 7. 700万円台 8. 800万円台 9. 900万円台 10. 1000万円以上
(3) 今後の仕事の継続見通し	1. 当分は今の仕事を続ける 2. 転職の可能性あり 3. 退職の可能性あり 4. わからない 予想される理由 あてはまる番号に○ 1. 仕事・職場の事情 2. 次の出産を機に 3. 親族の介護のため 4. 上記以外の事情	1. 当分は今の仕事を続ける 2. 転職の可能性あり 3. 退職の可能性あり 4. わからない 予想される理由 あてはまる番号に○ 1. 仕事・職場の事情 2. 次の出産を機に 3. 親族の介護のため 4. 上記以外の事情
(4) 今後5年間の収入の見通し	1. かなり減ると思う 2. ある程度減ると思う 3. 変わらないと思う 4. ある程度増えると思う 5. かなり増えると思う 転職などによる増収や、失業などともなう減収の見通しも含めてください。	1. かなり減ると思う 2. ある程度減ると思う 3. 変わらないと思う 4. ある程度増えると思う 5. かなり増えると思う

● このページでは、あなた方ご夫婦のご両親とごきょうだいについてうかがいます。

問5 あなた方ご夫婦のご両親の出生年について、それぞれ記入してください。

(1)あなた(妻)のお母さま	(2)あなた(妻)のお父さま	(3)夫のお母さま	(4)夫のお父さま
[1.明治 2.大正 3.昭和 4.西暦] _____年 生まれ (満____歳)			

※満年齢の記入はご健在の方のみで結構です。

問6 あなた方ご夫婦のご両親との同居／別居について、あてはまる番号に○をつけてください。

おたすねの対象時期 ↓		(1)あなた(妻)のお母さま	(2)あなた(妻)のお父さま	(3)夫のお母さま	(4)夫のお父さま
		1 同居 2 同じ市区町村内で別居 3 それ以外の地域で別居 4 すでに亡くなっていた(いる)			
各欄のあてはまる番号に○					
a. 現在の結婚を決めたとき	あなた	1 2 3 4	1 2 3 4	/	/
	夫	/	/	1 2 3 4	1 2 3 4
b. 結婚直後		1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
c. 現在		1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

問7 あなた方ご夫婦の兄弟姉妹の数を()内に記入してください(亡くなられた方は含めません)。

あなた	兄()人 いない場合は0を記入	姉()人 いない場合は0を記入	弟()人 いない場合は0を記入	妹()人 いない場合は0を記入	あなたを含めて合計 ()人きょうだい
夫	兄()人 いない場合は0を記入	姉()人 いない場合は0を記入	弟()人 いない場合は0を記入	妹()人 いない場合は0を記入	夫を含めて合計 ()人きょうだい

● 妊娠経験のある方 にかがいます。
 妊娠経験がない方は、次の問13へ進んでください。

問12 あなたご夫婦が経験されたすべての妊娠・出産について、(1)妊娠の結果、(2)妊娠/出産の時期、(3)妊娠前の予定のあてはまる番号に○をつけ、人数、年月、年齢を記入してください。
 6回以上妊娠された方は最後に合計の妊娠回数を記入してください。

	(1) 妊娠の結果	(2) 妊娠/出産の時期	(3) 妊娠前の予定
第1回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \end{array} \right\} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男()人} \\ \text{女()人} \end{array} \right\}$ 2. 流産 (死産を含む) } 3. 人工妊娠中絶 } 4. 現在妊娠中 _____	→ $\left\{ \begin{array}{l} [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] \\ \text{_____年_____月出産} \end{array} \right\}$ あなたが () 歳のとき [1. 平成 2. 西暦] _____年_____月出産予定	1回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第2回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \end{array} \right\} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男()人} \\ \text{女()人} \end{array} \right\}$ 2. 流産 (死産を含む) } 3. 人工妊娠中絶 } 4. 現在妊娠中 _____	→ $\left\{ \begin{array}{l} [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] \\ \text{_____年_____月出産} \end{array} \right\}$ あなたが () 歳のとき [1. 平成 2. 西暦] _____年_____月出産予定	2回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第3回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \end{array} \right\} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男()人} \\ \text{女()人} \end{array} \right\}$ 2. 流産 (死産を含む) } 3. 人工妊娠中絶 } 4. 現在妊娠中 _____	→ $\left\{ \begin{array}{l} [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] \\ \text{_____年_____月出産} \end{array} \right\}$ あなたが () 歳のとき [1. 平成 2. 西暦] _____年_____月出産予定	3回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第4回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \end{array} \right\} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男()人} \\ \text{女()人} \end{array} \right\}$ 2. 流産 (死産を含む) } 3. 人工妊娠中絶 } 4. 現在妊娠中 _____	→ $\left\{ \begin{array}{l} [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] \\ \text{_____年_____月出産} \end{array} \right\}$ あなたが () 歳のとき [1. 平成 2. 西暦] _____年_____月出産予定	4回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第5回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \end{array} \right\} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男()人} \\ \text{女()人} \end{array} \right\}$ 2. 流産 (死産を含む) } 3. 人工妊娠中絶 } 4. 現在妊娠中 _____	→ $\left\{ \begin{array}{l} [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] \\ \text{_____年_____月出産} \end{array} \right\}$ あなたが () 歳のとき [1. 平成 2. 西暦] _____年_____月出産予定	5回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった

● 6回以上妊娠された方 → 合計 (_____) 回妊娠

● このページでは、**お子さんをお持ちの方**に育児期の状況についてうかがいます。
 お子さんをお持ちでない方は、問24へ進んでください。

問21 あなた方ご夫婦がお子さんをお持ちになったときのあなたのお仕事についておたずねします。下のa~fの各時期における(1)おつとめの状況、(2)おつとめ先の従業員数について、あてはまる番号に一つずつ〇をつけてください。

おたずねの対象者 ↓	おたずねの時期 ↓	(1)おつとめの状況						(2)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)						
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
		正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業主・家族従業者	無職・家事	学生	1 5 9 人	10 5 29 人	30 5 99 人	100 5 299 人	300 5 999 人	1000 人以上	官 公 庁
生第1 だ子 方を	a 第1子の妊娠がわかったとき	1~6のあてはまる番号に〇をつける 1~4に〇をつけたときは右の欄に進む						(1)で1~4に〇をつけたときだけ あてはまる番号に〇をつける						
	b 第1子が1歳になったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
生第2 だ子 方を	c 第2子の妊娠がわかったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
	d 第2子が1歳になったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
生第3 だ子 方を	e 第3子の妊娠がわかったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
	f 第3子が1歳になったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7

※ お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人までの記入で結構です。

問22 あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間について、(1)ご夫妻のそれぞれのお母さまとは同居していましたか。また、同別居とは別に(2)子育ての手助けはありましたか。第1子、第2子、第3子について、それぞれあてはまる番号に一つずつ〇をつけてください。

おたずねの ↓	あなた(妻)のお母さま				夫のお母さま							
	(1)同別居		(2)子育ての手助け		(1)同別居		(2)子育ての手助け					
	1 同居	2 同じ市 区町 村内 で別 居	3 それ 以外 の地 域で 別居	4 すでに 亡く なっ てい た	1 ほと んど なか った	2 とき どき あつ た	3 ひん ばん にあ つた	4 日常 的に あつ た				
第1子	あてはまる番号1つだけに〇				あてはまる番号1つだけに〇							
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
第2子	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
第3子	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4

※ お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人までの記入で結構です。

問23 あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間、(1)主に居住していた都道府県はどこですか。また、(2)以下の制度や施設を利用しましたか。第1子、第2子、第3子について、それぞれ都道府県を記入し、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

おたすねのお子さん ↓	(1) ※1 主に居住していた都道府県 (または国名)	(2) 利用した制度や施設													
		1 産前・産後休業制度	2 育児休業制度(妻)	3 育児休業制度(夫)	4 育児時間制度・短時間勤務制度(妻)	5 育児時間制度・短時間勤務制度(夫)	6 認可保育所	7 認証・認定保育施設 (自治体が認証・認定した施設)	8 認定こども園 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)	9 企業内保育所	10 その他の保育施設	11 ベビーシッター	12 ファミリーサポートセンター (地域住民による子どもの預かり)	13 保育所・幼稚園等の一時預かり	14 どれも利用しなかった
第1子	_____ 都道府県	あてはまる番号すべてに○をつける													
第2子	_____ 都道府県	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
第3子	_____ 都道府県	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

※1 主に居住していた都道府県とは、各お子さんが3歳になるまでの間、最も長く住民登録していた都道府県(または国)です。
 ※ お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人までの記入で結構です。

● **すべての方に結婚、男女関係、家庭、子どもについてのお考えをうかがいます。**

問24 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑪のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。

※ 本問では賛成・反対の立場が取りやすいよう断定的な表現を用いています。
 また必ずしも一般的でない考え方も含まれています。

(左の考え方に)			
1	2	3	4
まったく賛成	いどえちらばら賛成と	いどえちらばら反対と	まったく反対

① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
② 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4
⑪ 結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない	1	2	3	4

● 以上で質問は終わりです。以下は自由記述欄です（ご意見等が無ければ空欄のままでかまいません）。

結婚や出産・子育ての体験を通じて、導入して欲しい施策、あるいは充実してほしい施策があれば、下の欄に自由にご記入ください。

そのほか、本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、ご意見などがございましたら、下の欄に自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
ご回答いただいた調査票は回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。
封筒は国立社会保障・人口問題研究所へ届くまで、途中で開封されることはありません。

※ 貴重なお時間をいただきましたことをこころから感謝申し上げます。本調査の結果は当研究所における統計分析を通して、国民の皆様のご生活向上に役立てられることとなります。なお、過去の結果については、下記に掲載しています。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス（対象者用） <http://www.ipss.go.jp/nfs14/>

§ 調査についてのご説明

◇ 出生動向基本調査とは？

この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育てについて調べる全国標本調査で、ほぼ5年ごとに実施されてきました。今回は14回目にあたります。ご夫婦の方への調査と、独身の方への調査の2種類があります。

◇ 調査の目的

国や自治体は、さまざまな施策を実施するにあたって、住民のおかれた状況や問題を把握しておかなくてはなりません。この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育ての状況を把握し、これにかかわる政策的な課題を科学的立場から探ることが主な目的です。とりわけ今日の日本では少子化が進行しており、これにともなう人口の減少と高齢化、そしてひとりひとりの生き方の変化が、今後の日本社会に大きな影響を与えるとの指摘がされています。この少子化の現状を把握し、原因を究明することは、本調査の大切な課題のひとつです。

◇ 調査の対象

この調査は、全国から無作為に選ばれた地域にお住まいの方々を対象としており、以下の2つのグループの方々に別々の調査票を用意しています。

[結婚されている方への調査票] (黄色の調査票)

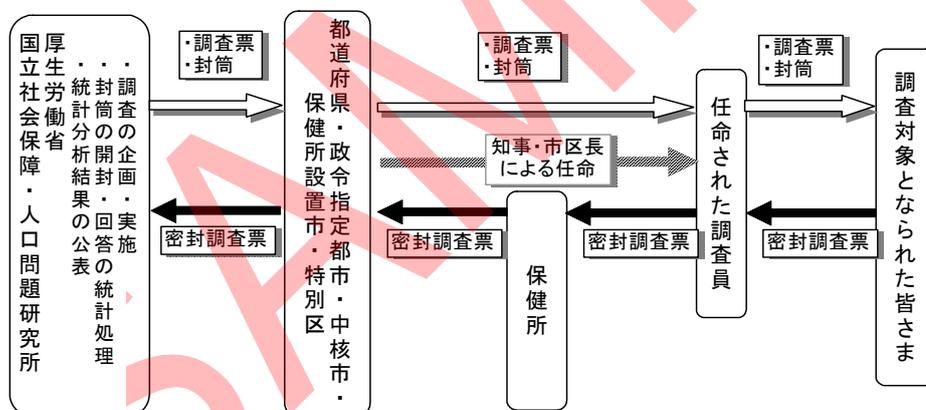
—— 届出の有無を問わず、結婚されている50歳未満の女性の方すべてが対象です。

[独身の方への調査票] (緑色の調査票)

—— 18歳以上50歳未満の独身の方(男性および女性)すべてが対象です。

◇ 調査のしくみ

この調査は、国立社会保障・人口問題研究所(厚生労働省の施設等機関)が、統計法に基づく総務大臣の承認を受けて、国、都道府県(または政令指定都市・中核市・保健所設置市・特別区)、地域の保健所と連携して実施します。調査は、知事(市長・区長)から任命された調査員が皆さまのお宅にうかがい、調査票の配布、および回答いただいた調査票(封筒に入れて密封したもの)を回収する方法で行います。



◇ プライバシー・個人情報の保護について

この調査票上の回答はすべて統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は「統計法」という法律で固く禁じられています。皆さまに回答いただき回収用封筒に密封された調査票は、調査員が回収した後も開封されることなく国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、その後は厳重な管理の下に置かれます。統計を作成する過程では個人を特定する情報はすべて除外されます。したがって、個人情報がもれることは絶対にありません。

◇ その他のお問い合わせ

回答方法などについてのお問い合わせは、調査員におたずねください。また、本調査の詳細情報、これまでの調査結果、よくあるお問い合わせなどについては、インターネット上に出生動向基本調査のホームページを開設して紹介しています。そちらをご参照ください。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス(対象者用) <http://www.ipss.go.jp/nfs14/>